



使用する前に

- [ESC ポータルへのログイン](#) (1 ページ)
- [ESC パスワードの変更](#) (2 ページ)
- [ESC ポータルダッシュボード](#) (3 ページ)

ESC ポータルへのログイン



- (注)
- ESC ポータルはデフォルトで有効になっています。インストール時に ESC ポータルが無効になっていないことを確認する必要があります。ESC ポータルの有効化または無効化の詳細については、[Cisco ESC インストールおよびアップグレードガイド \[英語\]](#)の「Installing ESC」を参照してください。
 - ESC ポータルへの初回ログイン時に、デフォルトパスワードの変更を求められます。
-

ESC ポータルにログインするには、次の手順を実行します。

始める前に

- ESC のインスタンスを登録します。ESC インスタンスの登録の詳細については、[Cisco Elastic Services Controller インストールおよびアップグレードガイド \[英語\]](#)を参照してください。
- ユーザ名とパスワードを取得していることを確認します。

手順

ステップ 1 Web ブラウザを使用して、ESC の IP アドレスを入力します。

例：

たとえば、ESC の IP アドレスが 192.0.2.254 の場合は、次のように入力します。

https://192.0.2.254 [https 経由でログイン]。ポータルは、デフォルトのセキュリティポート 443 で実行されます。

セキュリティ アラート メッセージが表示されます。

ステップ 2 [はい (Yes)] をクリックしてセキュリティ証明書を受け入れます。ログイン ページが表示されます。

ステップ 3 ユーザ名とパスワードを入力して、[ログイン (Login)] をクリックします。

初回ログイン時には、ログインページが再表示され、パスワードの変更を求められます。

ステップ 4 [古いパスワード (Old Password)] フィールドに古いパスワードを入力し、[新しいパスワード (New Password)] および [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドに新しいパスワードを入力します。

ステップ 5 [パスワードの更新 (Update Password)] をクリックするか、Enter を押します。

- (注)
- ポータルが応答しなくなった場合は、ESCADM ツールから `escadm portal restart` を実行してポータルを再起動します。
 - ESC ポータルは 1 人のユーザのみをサポートします。
 - 現在、事前インストールされた自己署名証明書は HTTPS をサポートしていません。ESC ポータルの処理を進める前に、ユーザは自己署名証明書を確認する必要があります。
 - HTTPS 通信モードでは、OpenStack によって返される URL プロトコルタイプが HTTPS ではない場合、VNF コンソールへのアクセスが無効になることがあります。セキュリティ上の理由から、HTTPS で実行している間は、安全性の低い通信は拒否されます。

ESC パスワードの変更

初回ログイン時にデフォルトのパスワードを変更する必要があります。ポータルでは、この手順をバイパスすることはできず、デフォルトのパスワードを変更するまでこのページに戻りません。パスワードを初めて変更した後、このセクションで説明されている手順を使用してパスワードを変更できます。また、ユーザが複数のブラウザまたはタブを持っている場合、または同じユーザが 2 台以上のコンピュータからログインしている場合、ユーザの 1 人がパスワードを変更すると、全員がログオフされ、新しいパスワードを再入力するように求められます。ポータルで 20 分以上アイドル状態になると、ユーザはログアウトされます。ポータル環境ファイルでユーザのアイドルタイムアウトを設定できます。パスワードを忘れた場合は、パスワードをリセットすることもできます。

ここでは、ポータルパスワードの変更方法について説明します。

ESC ポータルパスワードの変更

ポータルから既存の ESC ポータルパスワードを変更するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 ユーザ名とパスワードを使用して ESC ポータルにログインします。
- ステップ 2 画面右上隅のユーザーアイコンをクリックします。
- ステップ 3 [アカウント設定 (Account Settings)] をクリックします。アカウント情報とパスワードを更新するページが表示されます。
- ステップ 4 [パスワードの更新 (Update Password)] をクリックします。
- ステップ 5 [古いパスワード (Old Password)] フィールドに古いパスワードを入力し、[新しいパスワード (New Password)] および [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドに新しいパスワードを入力します。
- ステップ 6 [作成 (CREATE)] をクリックします。

次のタスク

CLI などを使用してパスワードを変更する方法については、『[Cisco Elastic Services Controller Install and Upgrade Guide](#)』を参照してください。

ESC ポータルダッシュボード

Cisco Elastic Services Controller ダッシュボードには、テナント、フレーバー、イメージ、展開、着信要求、通知、システムの正常性の視覚的なインジケータなど、管理対象のすべての ESC リソースが表形式で表示されます。次のダッシュボード要素は、データとシステムの正常性を経時的に追跡、監視、および診断するのに役立ちます。

ダッシュボードは、ダッシュボードを表示するシステムが専用のシステムであり、ポータルサーバを実行しているシステムとは異なる場合があるモニタリング デスク コンテキストで使用するのが最適です。ダッシュボードシステムは、ポータルサーバを実行しているシステムをブラウザでポイントする必要があります。

異常なスパイクやアクティビティの低下に気付いた場合は、ネットワーク上で通信障害や停電が発生して調査する必要があります。

HA スイッチオーバーの場合、ユーザはログアウトしてからログインしてポータルリソースを表示する必要があります。

次の表に、ポータルで確認できる詳細を示します。



(注) これらのタスクは、NB API を使用して実行することもできます。詳細については、[Elastic Services Controller NB API](#)を参照してください。

表 1: ポータルの詳細

タスク	移動方法	説明
ダッシュボードを表示する	[ダッシュボード (Dashboard)] を選択します。	すべての管理対象 ESC リソース、通知、システム設定、およびシステムの正常性の概要が表示されます。
通知を表示する	[通知 (Notifications)] を選択するか、ポータルの右上隅にある通知アイコンをクリックします。	ポータルで ESC から受信した通知が表示されます。
VNF を展開する	[展開 (Deployments)] を選択します。 重要 フォームを使用して VMware vCenter に VNF を展開するには、「フォームを使用した展開」を参照してください。	VNF を展開します。 ドラッグアンドドロップ機能を使用すると、既存の展開データモデルを取得し、展開テーブルにファイルをドラッグして再利用できます。テーブルのツールバーにある [XML のアップロード (Upload XML)] を使用して、ファイルシステムから適切なファイルを参照することもできます。 (注) XML ファイルのみ受け入れられます。 ドラッグアンドドロップ機能は、現時点では REST コールを実行し、NETCONF コールは実行しません。
既存の展開を表示する (OpenStack と VMware vCenter の両方)	[展開 (Deployments)] を選択し、テーブルから展開を選択します。 • [VMグループの表示 (View VM Groups)] をクリックします。モニタリング、スケーリングなどの詳細、およびその他の情報は、対応するタブで確認できます。	現在展開されている展開の概要が表示されます。展開の名前とステータス、およびその展開に展開されている VM の数を表示できます。

タスク	移動方法	説明
VIM を表示する	[リソース (Resources)]>[VIM (VIMs)]の順に選択します。	VIM ID、VIM のタイプ、VIM のステータス、プロパティ、およびVIM ユーザを含むVIM のリストが表示されます。
テナントを表示する (OpenStack のみ)	[リソース (Resources)]>[テナント (Tenants)]の順に選択します。	<p>テナントの名前、説明、およびIDを含む、テナントのリストが表示されます。</p> <p>重要 ESC は、VMware vCenter でのマルチテナント機能をサポートしていません。</p> <p>VIM でのリソースの作成に失敗した場合、ポータルはリソースの自動ロールバックを実行します。(競合する依存関係が原因で) 場合には、ロールバック障害通知が表示された後で、テナントを手動で削除する必要があります。</p>
VNF イメージを表示する	[リソース (Resources)]>[イメージ (Images)]の順に選択します。	選択したリソースのイメージのリストが表示されます。
VNF 展開フレーバーを表示する (OpenStack のみ)	[リソース (Resources)]>[フレーバー (Flavors)]の順に選択します。	選択したリソースのフレーバーのリストが表示されます。

タスク	移動方法	説明
ネットワークを表示する	[リソース (Resources)] > [ネットワーク (Networks)] の順に選択します。	サブネットワークとインターフェイスのネットワークごとに、ネットワークの詳細、テナント名、ネットワーク ID、ネットワークタイプなどが表示されます。それぞれの名前、ネットワーク ID、テナント ID などの詳細を確認できます。
サブネットワークを表示する (OpenStack のみ)	[リソース (Resources)] > [サブネットワーク (Subnetworks)] の順に選択します。	サブネットワークごとにサブネットワークの詳細、ネットワーク ID、サブネット ID などが表示されます。 (注) サブネットワークとインターフェイスのタブは、OpenStack でのみ使用できます。 ESC VM の初回起動時に、ネットワークおよびサブネットワークの作成フォームに空のテナントコンボボックスが表示されることがあります。テナントを正しくロードするには、ページを更新します。
インターフェイスを表示する (OpenStack のみ)	[リソース (Resources)] > [インターフェイス (Interfaces)] の順に選択します。	インターフェイスごとにインターフェイスの詳細、ネットワーク ID、サブネット ID、VM 名などが表示されます。
スイッチの詳細を表示する (VMware vCenter のみ)	[リソース (Resources)] > [スイッチ (Switches)] の順に選択します。	スイッチ、スイッチの名前、説明、UUID、およびホストのリストが表示されます。

タスク	移動方法	説明
展開テンプレートを使用してVNFを展開する	[システム (System)] > [展開テンプレート (Deployment Template)] の順に選択します。	事前設定済み展開テンプレートを作成します。
ESC への着信要求を表示する	[システム (System)] > [着信要求 (Incoming Requests)] の順に選択します。	トランザクションIDや要求の詳細など、ESC へのすべての着信要求が一覧表示されます。
設定を表示する	[システム (System)] > [設定 (Configuration)] の順に選択します。	VMの設定、モニタリングルール、VM 展開中のポリシーの適用などに使用されるすべての設定パラメータが一覧表示されます。
起動パラメータを表示する (OpenStack のみ)	[システム (System)] > [起動パラメータ (Boot Parameters)] の順に選択します。	ESC の起動に使用されるすべての起動パラメータが一覧表示されます。
ホストの詳細を表示する (OpenStack のみ)	[システム (System)] > [ホストの詳細 (Host Details)] の順に選択します。	オペレーティングシステム (OS)、OS のバージョン、システム稼働時間、RAM、ストレージなどのホストの詳細が一覧表示されます。
ESC の正常性を表示する (OpenStack のみ)	[システム (System)] > [正常性 (Health)] の順に選択します。	ESC の正常性、CONFD ステータス、動作ステータス、およびその他の詳細が表示されます。
ログをダウンロードする	[システム (System)] > [ログ (Logs)] の順に選択します。	ログメッセージをダウンロードできます。
インフラストラクチャの詳細を表示する (OpenStack のみ)	[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [インスタンス (Instances)] の順に選択します。	仮想化インフラストラクチャで実行されているすべての VM。
ハイパーバイザを表示する (OpenStack のみ)	[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [ハイパーバイザ (Hypervisors)] の順に選択します。	仮想化インフラストラクチャで実行されているすべてのハイパーバイザ。

タスク	移動方法	説明
VNF を展開解除する	<ul style="list-style-type: none"> • [展開 (Deployments)] を選択します。 • テーブルから展開を選択し、テーブルのツールバーの[X]をクリックして展開を解除します。 	VNF を展開解除します。
VDC を表示する (VMware vCenter のみ)	[リソース (Resources)] > [データセンター (Datacenters)] の順に選択します。	すべての仮想データセンターのリストが表示されます。



(注) ESC ポータルのページを小さな画面で表示すると、テーブルのフォーマットに問題が生じることがあります。テーブルを正しく表示するには、ブラウザ画面が 15 インチ以上である必要があります。

[システムパネル (System Panel)] は、次のタブで構成されています。

- [パフォーマンス (Performance)] : パフォーマンスデータが表形式およびグラフ表示で表示されます。
- [ストレージ (Storage)] : ディスクの使用状況が表示されます。
- [vCPU使用状況 (vCPU Utilization)] : ESC VM の vCPU の使用状況が表示されます。
- [正常性 (Health)] : ネットワーク、データベース、tomcat など、さまざまな ESC プロセスの正常性が表示されます。
- [ホストの詳細 (Host Details)] : オペレーティングシステム (OS) 、OS のバージョン、システム稼働時間、RAM、ストレージの詳細などのホストの詳細が表示されます。

通知

[通知 (Notification)] ページには、ESC 展開に関するすべての通知が一覧表示されます。

- エラーイベント :

[通知 (Notification)] ページからエラーイベントを選択し、[詳細情報の表示 (View More Info)] をクリックして、エラーイベントの完全なレポートを表示します。



(注) 明示的なエラーメッセージを含むエラーイベントには、詳細レポートはありません。

完全なレポートは、REST API を使用して生成することもできます。troubleshooting-Id は、レポートを生成するために ESC-Status-Message に含まれています。

- 通知のクリア :

通知を日付でソートして、削除できます。すべての通知を削除するには、[通知のクリア (Clear Notifications)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。